



図書館 めくるくん通信

図書館 ☎ 69♦3706

図書館へ行こう～分室編1～

お出かけのついでやご近所にお住まいの方など、便利にご利用ください♪市内に7カ所ある図書館分室を紹介します。

◆大塚公民館分室

人気は絵本や旅行の本、ミステリー小説、大活字図書など。雑誌の新刊はエッセ、クロワッサン、クワネルをご用意しています。

とき 毎週火・水・木・土曜日
午後2時～5時30分
ところ 大塚公民館2階
※祝日および図書館本館の休館日は休み。



図書館に入った本

毎月1,000冊以上の本が入ります。
一部をご紹介します♪



小説



『主夫のトモロー』

朱川湊人／著 NHK 出版

『少年たちの戦場』

那須正幹／作 はたこうしろう／絵

新日本出版社

人生劇



『50代は悩み多きお年頃』

横村さとる／著 光文社

生活



『大人のゆかたスタイルブック』

秋月洋子／著 講談社

お金の



『図解最高の利回りを実現! はじめての確定拠出年金 企業型 & 個人型』

朝倉智也／著 学研プラス

健康



『認知症の私からあなたへ20のメッセージ』

佐藤雅彦／著 大月書店

絵本



『ネコツメのよる』

町田尚子／著 WAVE 出版

歴史



『戦国武将を診る源平から幕末まで、歴史を彩った主役たちの病』

早川智／著 朝日新聞出版

自然



『やさしい山のお天気教室』

栗澤徹／著 柗出版社

貸出中の場合もありますので、本が見当たらない時はお気軽に職員にお尋ねください。

タカアシガニの運搬

■タイからの注文の品

形原の漁師さんから「タカアシガニあるよ」と夜中に連絡がきたので飛び起きて港に向うことになりました。最近では世界中から依頼が来てタカアシガニを飛行機に載せて各国に送っています。今回もタイから4匹頼まれていたところでした。他のスタッフはすっかり寝ている時間で起こすのもかわいそうなので私1人で出かけることにしました。夜中に巨大なカニを1人で運ぶ館長なんて世界で私

■一人夜中に激怒

水族館の生物運搬用トラックの荷台にはタンクが載っているの、これに水温を合わせた水を貯めて準備完了。さあ出かけよう! と思った矢先、トラックは無情にも「ガソリンがないです」ランプが元氣よく点灯。ありゃま、と思うと同時にトラック使用後にガソリンを入れず放置し、今頃ぐっすり寝ている職員の顔が頭に浮かび、今すぐ呼びつけて3時間ほど猛烈に説教してやりたくになりました。深夜なので開いているガソリン

■カニの逆襲

漁港で漁師さんからタカアシガニ2匹を受け取り、ブルーシートに軽くくるんで後部座席に載せました。すばやく水族館に帰り、水槽に入れてあげないといけません。こういう時に限って赤信号でよく止まります。警察に職務質問されたら1匹あげて取り調べを勘弁してもらおうと心に決めました。が、そんなことはありませんでした。しかし運転中、耳元に気配を

■カニの逆襲

感じて振り返ったら、顔のすぐ横にタカアシガニのハサミが。危うく巨大かつ強力なハサミで耳を挟まれるところでした。耳元で「どこに連れて行ってくれるの、ステキなところじゃないとイヤよ。お願いね。」と可愛くささやいてくれればカニとはいえなんとなく嬉しくなり「行きつけの感じのいいバーがあるの、寄っていきましょか」となる可能性も出てきますが、そうではなく海の奥底から捕えられたあげく、水から出されてシートにくるまれ軽自動車で運ばれるという敬意の無い対応に彼らはかなりご立腹の様子。シートから這い出してきたのです。路肩に車を止めて、コノヤロ、出てくるなよ。と言いながら再度ブルーシートにくるんで水族館へ急ぎました。



水族館



館長 小林龍二

竹島水族館
☎ 68♦2059